

内科(4) 糖尿病・内分泌代謝内科

診療科の特色

健康寿命を伸ばすための 「フロントランナー」になりませんか？

手術など目立ったことはないけれど、我々の存在なしでは現在の医療は成り立たない。
医療の最上流で多くの患者とともに内科医として活躍しませんか？

信州大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌代謝内科と一緒に働きましょう！！

当科の専門分野は糖尿病、内分泌代謝、老年医学です。これらの分野の疾患の特徴は、「全身にわたる疾患であること」です。したがって、当科の専門分野のみならず、内科一般の様々な疾患や病態に対処できるようになることが重要です。信州大学内科専門医研修プログラムに入っているだけで内科全般を学び、さらに、糖尿病・内分泌代謝学の専門的な知識・技能も当科でしっかり学ぶことができます。

<専門科として主に扱う疾患>

糖尿病・代謝(生活習慣病)分野：糖尿病、高血圧症、脂質異常症、高尿酸血症、肥満症、メタボリックシンドロームなど

内分泌分野：甲状腺、副甲状腺、間脳下垂体、副腎、性腺、膵内分泌腫瘍、遺伝性内分泌腫瘍 など

老年医学分野：骨粗しょう症、老年症候群、加齢医学 など

専門研修の魅力

糖尿病も内分泌代謝疾患も全身に影響の現れる疾患であり、これらの診療を適切に行うには一つの臓器のみを診ていてはできません。必然的に、**総合的な力**を持ち**全身を診る**ことのできる内科医になることが要求されます。総合的な幅の広い診療を行える力量を目指す場合に、自分のプラットフォームが「**糖尿病・内分泌代謝**」であることは大きな強みになります。

当科は**日本内科学会、日本糖尿病学会、日本内分泌学会、日本老年医学会、日本肥満学会**などの**認定教育施設**であり各学会の**認定医、専門医、指導医**の資格を取得することは勿論、**大学院**での研究活動を通じて**学位取得**を目指し、糖尿病、内分泌代謝疾患の病態解明や新しい治療法の開発に貢献することが可能です。また、**海外留学**や**国内留学**も積極的に支援しており、さらなる**キャリアアップ**を目指すことも可能です。

是非、直接見学にいらして下さい！！

信州大学内科専門医研修期間

専攻医 1 年目：1年のうち約半年間は糖尿病・内分泌代謝内科で研修していただきます。

それ以外の期間は「信大基本コース」に則って、当科以外の内科を2ヶ月ごとにローテーションしていただき、幅広く内科領域を学びます。

専攻医 2 年目：信州大学専門医研修プログラムの連携施設の病院で1年間研修します。(下記)

専攻医 3 年目：糖尿病・内分泌代謝内科で1年間研修します。希望を積極的に取り入れ、大学院に入学することや、引き続き連携施設の病院で研修を行うことも可能です。

プログラム構成病院

専攻医 2 年目は、基本的には連携施設の病院で1年間研修を行います。

下記の研修病院において、当科出身の常勤の医師が指導を行います。

研修病院(2021年度)：[長野赤十字病院](#)、[相澤病院](#)

[長野市民病院](#)、[飯田市立病院](#)

[南長野医療センター篠ノ井総合病院](#)

[信州上田医療センター](#)、[諏訪赤十字病院](#)

* 大学病院に勤務している期間は、当科の関連病院(下記)で、糖尿病・内分泌代謝内科の専門外来を週に1～2日担当します。(2021年度)

関連病院

[相澤病院](#)、[長野赤十字病院](#)、[南長野医療センター篠ノ井総合病院](#)、[浅間南麓こもろ医療センター](#)、[国保浅間総合病院](#)、[岡谷市民病院](#)、[松本市立病院](#)、[丸の内病院](#)、[富士見高原病院](#)、[長野中央病院](#)、[諏訪赤十字病院](#)、[市立大町総合病院](#)、[まつもと医療センター](#)、[昭和伊南総合病院](#)、[北信総合病院](#)、[県立木曽病院](#)、[東御市民病院](#)、[千曲中央病院](#)、[信州上田医療センター](#)、[長野県立こども病院](#)、[一ノ瀬脳神経外科病院](#)、[甲府共立病院](#)、[伊那中央病院](#)、[飯田市立病院](#)、[長野県立信州医療センター](#)、[城西病院](#) など

実際の研修概要

1 年目	
2 年目	初期研修終了
3 年目	入局 信州大学内科専門医研修プログラム(信大基本コース)専攻医1年目 糖尿病・内分泌代謝内科専門医研修 開始
4 年目	信州大学内科専門医研修プログラム 専攻医 2 年目
5 年目	信州大学内科専門医研修プログラム 専攻医 3 年目 (内科専門医試験→ 内科専門医資格取得) 糖尿病・内分泌代謝内科専門医研修 3 年目 大学院 入学 (希望者)
6 年目	糖尿病・内分泌代謝内科専門医研修 4 年目 大学院 2 年目
7 年目	糖尿病内科専門医 、 内分泌代謝科専門医取得 大学院 3 年目
8 年目	大学院 4 年目 → 学位取得
9 年目以降	専門性を生かした、国内海外留学・診療・大学での研究、一般病院への勤務、など一人一人の個性や希望に合わせて活躍の場を広げる。

注：6 年目以降は、信州大学だけでなく、当科の関連病院である糖尿病専門研修指定病院に勤務して専門医取得を目指します。

取得できる専門医、資格など

内科専門医 (内科専門医研修プログラム3年目で取得)

入局後、まずは幅広く内科全般を学ぶために内科専門医研修プログラムに入ります。
(詳細はP2～P3を参照)

糖尿病専門医 (7年目以降)

急増している糖尿病に対する治療の中核を担うきわめて将来性の高い資格です。当科では責任を持ってその取得をサポートします。将来開業などの独立を考えた場合、糖尿病を中心とした生活習慣病を専門としていることは様々な面で有利となります。

内分泌代謝科専門医 (7年目以降)

肥満症専門医 (7年目以降)

甲状腺専門医 (8年目以降)

疾患の種類が多く、専門的な技能が求められるにもかかわらず専門家が少ないため、需要の多い分野です。診断までのプロセスが理論的であり、専門家としての力量を十分に発揮できます。

老年病専門医 (7年目以降)

高齢化社会を迎え、将来性のある資格で、あらたな将来の医療の姿がみえてきます。

学位(医学博士) (8年目以降)

医学研究者として活躍する第一歩になるだけでなく、基礎研究、臨床研究をすることによって得られる、論理的思考力やデータ解釈力・洞察力は、臨床医として活躍する上でも、多くの情報に振り回されず、病態をしっかり見据える能力を高めることにつながります。

大学院での研究テーマ、臨床研究のテーマなど

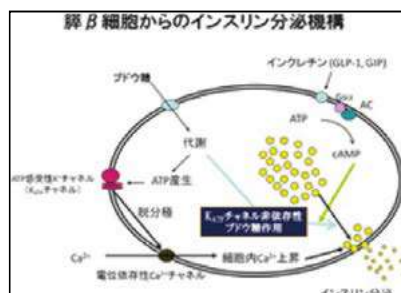
研究活動が活発な教室です。臨床研究は新しいアイデアを用いて積極的に行なっています。実験室の設備や環境が充実しており、基礎研究にも力を入れています。
(2021年4月現在 大学院生 4名在籍)

- ・ インスリン分泌機構の研究
- ・ 甲状腺ホルモン結合蛋白(CRYM)と糖脂質代謝の関係
- ・ 高齢者糖尿病のコホート研究(NAGANO study)
- ・ 甲状腺癌の遺伝子治療
- ・ 少量スピロラクトン投与による糖尿病性腎症の尿中アルブミン減少効果
- ・ 糖尿病患者におけるインターバル速歩の有用性(スポーツ医学教室と共同研究)

など



人工臓器



国内留学・海外留学

海外留学、国内留学とも可能です。 とくに、海外留学は希望があれば4年間程度は可能です。

現在までの留学先(海外、国内)

シカゴ大学(米国)	マサチューセッツ総合病院(米国)
コーネル大学(米国)	リヨン大学(フランス)
テキサス大学(米国)	ルーヴァンカトリック大学(ベルギー)
アイオワ大学(米国)	大分大学医学部 薬理学講座(国内)
	群馬大学 生体調節研究所(国内)

将来の就職先など

当科の専門分野は幅広いニーズがあり、大学での教職、勤務医、開業すべてにおいて活躍ができます。

当科の医師の特徴

生活習慣病の患者さんに対応している為か、性格が温かな医師が多いです。患者さんにじっくり寄り添い、家族のように付き合っていくという姿勢を好む先生方には、とてもやりがいを感じると思います。また扱っている内容や科の雰囲気、女性医師にも向いています。



連絡先

信州大学医学部 内科学第四教室(糖尿病・内分泌代謝内科) 教授:駒津 光久

■住所: 〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1 ■電話: 0263-37-2686 ■FAX: 0263-37-2710

■E-mail: mitsuk@shinshu-u.ac.jp

■U R L: <http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/department/doctor/grdkarei/i-karei/>

■専門研修プログラムの詳細は、信州大学医学部附属病院HP 卒後臨床研修センター → 専門研修 [内科]